

施設関係者評価実施報告書

令和5年 3月 31日

報告者氏名 岩橋法彦

評価者氏名 平山 猛、田和由里子

①全体評価

全体的に目標に達成しているが、改善の余地がある物も若干ある

②学校評価の個別評価

全体の計画や指導

教育・保育課程やそれぞれの計画書を適正に作成されそれにもとづいて保育が行われている。今後は要領の細かいところまで注意をしながら保育の研鑽に務めていけると良い。

保健管理

保健部を中心に教室やおもちゃ類等の衛生管理、園児・職員の健康管理を行うことができていた

安全管理

園舎・遊具等の安全管理、園児にむけては、交通安全教室、避難訓練を通し安全教育が実施されている

特別支援教育

一人一人の園児の発達や育ちに合わせた環境を設定し、安心感のなかで過ごせるよう園児に働きかけている

組織運営

職員の組織化にとりくまれている

研修(資質向上の取組)

個人個人の資質の向上を園全体の向上と図るため園内研修を行い外部の園外研修に参加している

教育目標・学校評価

定められた目標を念頭に置き教育・保育に取り組みそれに対して自己評価、園全体評価を行った

情報提供

毎月のおたよりやブログ、デイリーなどを利用し園の情報を発信されている

保護者・地域住民との連携

園生活を送る中で保護者と情報の共有や、日々のあいさつを実施されている

子育て支援

コロナ禍のため 実施が難しいようであった

預かり保育

保護者の実情により幼稚園の預かり、一般の預かりを実施している

教育環境整備

教育・保育が有効に実施されるよう机の配置や備品整備に気をつけられている

③その他必要な評価

給食の衛生管理

出来ている

アレルギー児への対応

医師の指導の下給食の提供を行った

④課題と検討

令和4年度もコロナウィルス感染症の予防対策が実施され、制限ある中で沢山の工夫がされている。令和5年度は、第5類に以降することもあり、コロナ前の保育に戻る物もあり、このままいく事もあり、新しい保育が始まる。感染症対策を取りながら、新しい時代の保育を考えていかないといけないだろう。